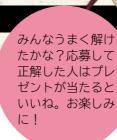


## 新春特別企画

に!





広報ひろさき 1月1日号に掲載した 「シークワーズで福袋を当てよう!」 の答えは「エガオアフレルマチヒロサ キ (笑顔あふれるまちひろさき)」で した。正解者の中から抽選で「ひろさ き福袋 (A賞)」と「鈴井貴之さんの 直筆サイン色紙(B賞)」を各5人に、 さらに、はずれた人の中から抽選で 10人に、「弘前市シティプロモーショ ン福袋(ノベルティグッズの詰め合わ せ)」をプレゼントします。当選者の 発表はプレゼントの発送をもって代え させていただきます(2月中を予定)。

なお、1月19日現在の応募者数は 731人(正答率 96.2%)です。

たくさんのご応募ありがとうござい ました。皆さんから寄せられた意見な どは、今後のよりよい誌面づくり、効 果的な情報発信のために生かしていき ます

■問い合わせ先 広聴広報課広聴広報 担当 (**本** 35·1194)

	ネガフ	クロテ	ダンマ	チハミ
ズソア	イナイ	ナダム	カイト	ノセナ
5 天 夭	リタワ	シイア	ケイザ	キズミ
ノドツ	五三黨	ラムク	ヲヺガ	丰岁才
リオリ	ポウゲ	ノケド	カヤチ	ゴウオ
チトセ	ガウダ	メミズ		ウママ
ヨシカ	ワオマ	ロメウ	テクヨ	ノッチ
ウトウ	イワカ	チアニ	バシ	スパル
ウッエ	フキノ	ラナダ	ククズ	<b>ハラ</b> □
ヨコダ	フカワ	イガレ	カタダ	ラヒク
チチチ	マテド	チベナ	ヤバル	
ンマヨ	ボママ	<b>会かり</b> 力	ノタマ	タシノ
エイウ	<b>177</b> 1"	ウシハ	ズミシ	イジイ
クナタ	カダフ	チョタ	テノエ	ドヨセ
ガウオ	ヌザヒ	モトテ	ラブチ	コッジ
七十才	グマウ	ソロト	オワザ	<del>力</del>
モミサ	クラガ	オカズ	サマジ	マクモ
タキマ	ブンキ	ヨウチ	ヨウシ	3 = 2

# FMラジオ

# 「つなげよう!市民のチカラ!」放送中です

## ●自治組織/南城西町会

町会加入促進に向け、不動産関連団体・市町会連合会・市の三者で締結した「町 会活動活性化に関する協定」や、市と市町会連合会との協働による「地域コミュ ニティ強化プロジェクトチーム」など、地域住民と行政が一緒に地域コミュニティ の強化を目指す取り組みが始まっています。南城西町会では、「町会は住民の生 活基盤であり、住民同士が仲良く助け合いながら豊かな地域をつくっていくこと が町会の果たす役割」との思いから、全ての人が手に取れる紙媒体の「町会だよ り」を作成し、住民一人ひとりの手元に届く安心感を大切にしています。それぞ れの地域コミュニティが存続できるよう、町会活動や地域のつながりが大切であ ることを住民に深く理解してもらうために、呼びかけています。



FM アップルウェーブ(78.8MHz)の日曜午後5時からの生放送番組「わがまま WAVE It's Cool」内で、町会や NPO をは じめとする市民活動の実践者が生出演し、活動の魅力を発信するコーナーです。毎月第4日曜日、午後5時10分頃から放送 されますので、ぜひお聞きください。

# 弘前城石垣修理

## 第8回~天守曳屋と石垣発掘調査~

本丸東側石垣の解体修理のため行われた弘前城天守 の曳屋(ひきや)工事は、昨年10月24日の「着座式」 をもって終了しました。現在は、4月1日からの天守 内公開に向けて、補強工事や公開準備をしているとこ

本丸東側石垣では、今年度も発掘調査が行われまし た。調査範囲は天守台北側の 700㎡ (70m×10 m) で、調査3年目となります。

大きな調査成果としては、まず、明治~大正時代の 石垣修理範囲が想定していたよりも広範囲であり、天 守台の北側約60 m地点にまで及んでいることを確認 しました。石垣の積み方観察では、明治時代以降の修

理範囲は天守台から北に 40 m付近までと考えられて いましたが、今年度の発掘調査で、天守台から北に55 m付近の掘削を進めたところ、深さ約250cm(石垣の 上から6石目に相当)から、明治時代以降のガラス瓶 の破片や陶磁器が出土しています。石垣背面の盛土か ら明治時代以降のものが出土する事実は、新しい時期 に石垣が積み直されたことの証拠になります。

また、調査範囲北端の黒土には、「版築(はんちく)」 と呼ばれる丁寧な盛土工事の痕跡を確認しました。こ の土からは、現段階で17世紀より古い時代のものだ けが出土しており、この盛土が江戸時代の元禄年間に 築かれた石垣を構成する可能性もあります。

## 発掘現場での作業



掘調査も進めました。

専門家の指導も受けながら発掘調

査を進めています。

弘前城跡本丸石垣

発掘調査委員会

職場体験

発掘調査中には、市内の中学・高 校生の職場体験も行われ、真夏の 厳しい暑さの中、皆さん若い力を 発揮してくれました。



昨年11月7日には、一般向けに調 杳成果の現地説明会を開催。120 人が参加しました。

▲明治~大正時代の石垣修理に伴う 盛土…分厚い黄色い粘土と黒土が、 交互に盛土されています。本丸から 内濠へ土を流し入れたかのように、 斜め方向に堆積しているのが特徴的



▲江戸時代のものと推定される盛土 …発掘調査範囲の北端に良好に残っ ていました。こちらも茶色の土と黒 土が交互に堆積していますが、厚さ 10~30cmほどの固く締まった層が ほぼ水平に堆積しており、丁寧な印 象を受けます。

※弘前城本丸石垣修理事業について、詳しくは下記 URL をご覧下さい。 http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gaiyou/shisetsu/park/2015-0217-1629-48.html ■問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室(弘前公園緑の相談所内、☎33・8739)